



街路樹、公園、そして森や山の樹木…
緑を見ていて、私たちの目は疲れるということはありません。
人間の目は、緑色を最も明るく感じ、また、よく見えるようにできています。
私たちの心をなごませ、暮らしに潤いを与えてくれる緑。
あなたも、身の回りの緑にもっともっと触れてみませんか。
そして、この大切な緑をみんなで守り育てていきましょう。
発信します。緑の基地熊本から、グリーンウォッチング。

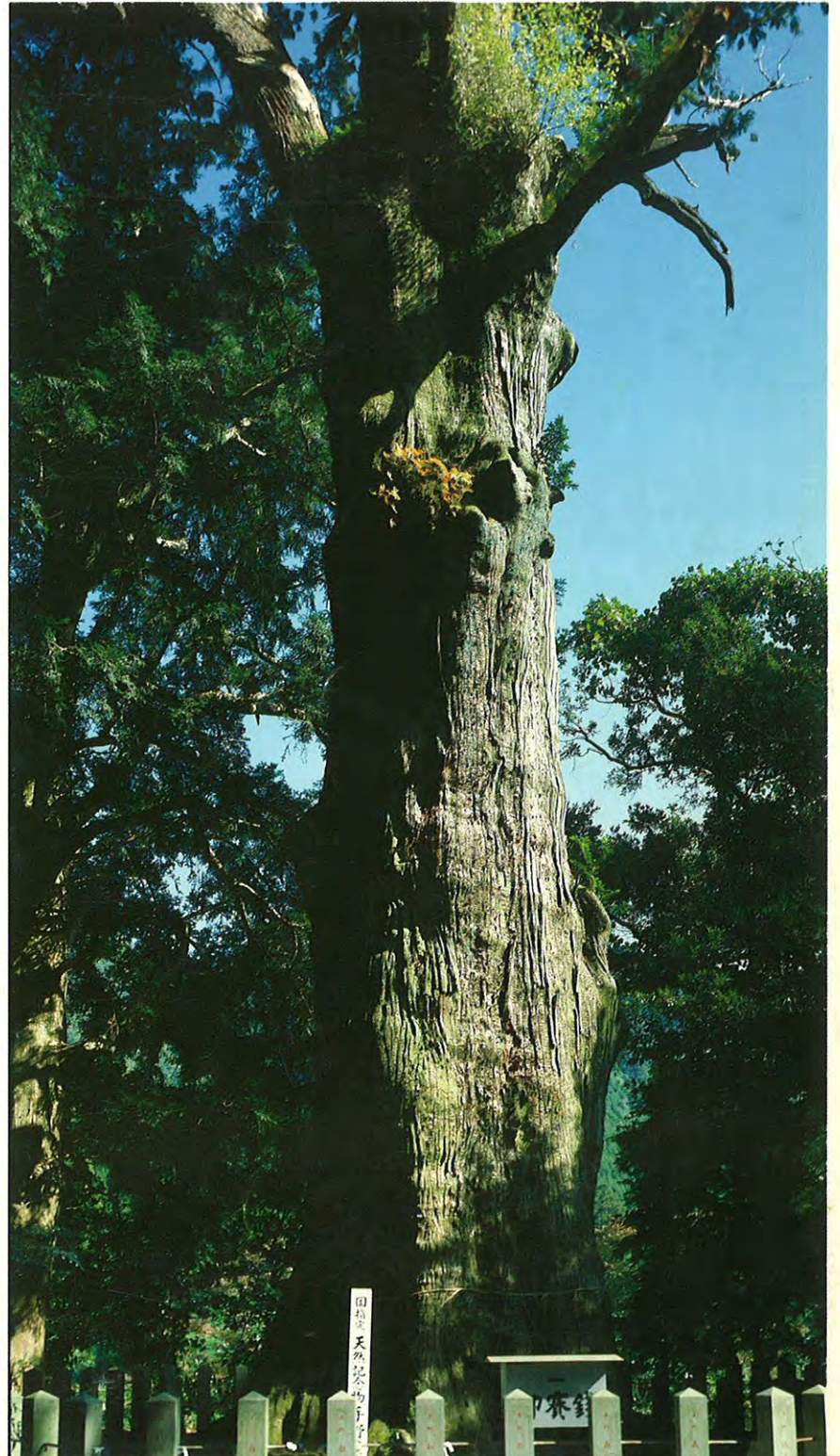
樹齡千余年。 社やしろに眠る緑の遺産。

手野の杉

樹令千年以上という大杉(写真右)
が阿蘇郡一の宮町にある。宮地の町
から九州横断道路を進み、水田地帯

を過ぎて古城ヶ鼻の麓につきあたったところ、この道を左手に折れて手野へ向うと、やがて谷間の奥に森が見えてくる。手野の杉を中心とする国造神社の社叢である。その中にひときわ目立つ巨杉がそびえ立っているが、これが大正十三年に天然記念物に指定された「手野の杉」である。樹高四十七メートル、幹囲十一メートルあって、これは小国の阿弥陀杉とともに県下の大杉の双壁をなしている。

この杉は、祭神速瓶玉命のお手植はやみかみの神杉といわれている。昔は、男杉・女杉の二本があったが、男杉は文政年間火災に遭い伐採された。香り高い木で、その一部が桜町天皇の御笏の材料に献上され、おほめの言葉おほのことばをいただいたというエピソードがある。
今年開催された第三十六回全国植樹祭で天皇陛下がお手植えされた杉苗は、この大杉から採穂して養成したものである。



撮影 宮井 政次さん

ご回覧、ご陳列下さい。